

功績をたたえて 危険業務従事者叙勲

4月9日付で発表された「危険業務従事者叙勲」では、市内から野口浩一さん、東義美さんの2人が受賞されました。

瑞宝双光章 野口浩一さん（福岡町）

航空自衛隊でF4戦闘機やF15戦闘機のパイロットとして、約18年にわたり国民の安全安心の確保に尽力されました。その後、約5年間、航空学生の指導に務められました。



平成3年の湾岸戦争後には、機雷除去の目的で中東に派遣された、海上自衛隊掃海部隊の送迎任務を遂行されました。受賞に際し「周囲の方々の支えのおかげです。感謝しています」と述べられました。

瑞宝単光章 東義美さん（緑が丘）



警察官として南加賀を中心に家族とともに赴任し、地域の見守りを第一に考え、43年にわたり管内の治安維持に尽力されました。五六豪雪時には、人命だけでなく、公共施設も守るという使命感のもと、ご夫婦で駐在所の雪下ろしや維持管理に努められました。受賞に際し「妻をはじめ、家族の協力があったおかげで、地域の治安維持のため職務に専念できました。感謝しています」と述べられました。

のみふる

能美ふるさとミュージアム 総来館者数5万人達成！

4月27日、能美ふるさとミュージアムの総来館者数が、令和2年10月のオープンから1年半で5万人を達成しました。



記念すべき5万人目の来館者は国造保育園年長組の園児たち24名です。ひば能ん、ゆず美んもお祝いに駆けつけ、教育長、館長が記



国造保育園年長組の皆さん



5万人目となったことに驚きながら、その楽しさを話してくれました



笑顔で嬉しそうに記念品を受け取る園児

総来館者数5万人という記録を達成できたことを励みに、さらに多くの方にご来館いただけるよう、努めてまいります。これまでご来館くださった全てのお客様に、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。（職員一同）

より快適な競技環境に 物見山陸上競技場リニューアル

4月23日、物見山陸上競技場の改修工事の完了を祝し、同陸上競技場でリニューアルセレモニーを開催しました。

改修工事ではトラックの補修や塗装のほか、グラウンドを照らす投光器や館内照明のLED化、トイレの洋式化を行い、より快適な競技環境が整いました。またセレモニーでは同陸上競技場で日々練習に励む



物見山陸上競技場のリニューアルを祝い、関係者がテープカットを行いました



寄贈された写真パネル

小中学生たちによるテープカットを行いました。さらに競歩競技でトップレベルの選手の指導を行う内田隆幸さん（福岡町）から、鈴木雄介選手をはじめとする、同陸上競技場で練習を重ねた競歩選手たちが、世界大会で着用したユニフォームや写真パネルが寄贈されました。



100メートルレーンとトラックのインコースを張り替えました

小松市立高校女子ハンドボール部 全国大会準優勝を報告

第45回全国高等学校ハンドボール選抜大会に出場した、同校女子ハンドボール部所属の市内在住の選手たちが、4月19日、市役所を訪れ、井出市長に結果報告を行いました。報告会では、準優勝のカップやメダルが披露されました。選手たちからは、決勝戦は終了間際に惜しくも1点を奪われて悔しい思いをしたことや、今後の意気込みなどが語られました。

【決勝戦試合結果】
小松市立高校 27 - 28 洛北高校（京都府）



市在住の小松市立高校女子ハンドボール部員たちと井出市長

令和4年度全国消防長会東近畿支部 消防職員意見発表会

4月20日、京都ホテルオークラで、令和4年度全国消防長会東近畿支部消防職員意見発表会が開催されました。本発表会は東近畿支部の各府県代表（石川県、富山県、福井県、滋賀県、京都府、和歌山県、奈良県）と京都市消防局の代表の併せて8名が出場しました。石川県代表の寺井消防署 舛田仁美消防副士長が「ジェンダーの平等」と題した意見発表を行い、入賞しました。



意見発表会の動画はこちら



消防業務での男女の力の差や、女性消防士への偏見と平等について意見発表する舛田仁美消防副士長

懸垂幕を掲げてPR 民生委員・児童委員活動強化週間

5月12日、能美市民生委員児童委員協議会は「民生委員・児童委員の日活動強化週間（5月12日～18日）」にあわせ、市役所に懸垂幕を設置しました。

民生委員・児童委員は地域で高齢者や障がいのある方などが、安心して暮らせるよう見守りや安否確認などを行っています。

同協議会会長の生田絹代さんは「民生委員・児童委

員として心に優しさ

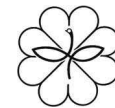
誇りを持って活動していきたい」と話しました。



民生委員・児童委員の皆さん



民生委員・児童委員についてはこちら



民生委員・児童委員のマーク

いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭2022 in能美

5月1日、根上総合文化会館で「いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭2022 in能美」を開催しました。

「ロマン派の珠玉のオペラとカルメンを」と題し、石川公美さん（ソプラノ）、島木弥生さん（メゾソプラノ）、城宏憲さん（テノール）、森雅史さん

（バス）、門田宇さん（バリトン）、岩瀬慶子さん（ピアノ）の6名が出演されました。美しい歌声とピアノの音色で会場を魅了しました。

参加者は「情熱的な歌声に感動しました」と話していました。



今回の公演ではカルメン・ハイライトをお届けしました

能美市移住定住促進協議会を設立 相談体制や情報発信機能を強化

5月11日、辰口福祉会館交流ホールで能美市移住定住促進協議会の設立総会を行いました。

総会では市内の企業や団体の構成員をメンバーとする協議会委員が集まり、移住相談の受入体制や情報発信機能の強化を図るため、企業や関係機関と連携し、移住定住施策を推進していくことについて話し合いました。



企業の人材確保の現状や、SNSの活用などについて話し合う委員たち

能美市地域公共交通協議会を設立

4月20日、辰口福祉会館交流ホールで能美市地域公共交通協議会の初会合を行いました。市内を運行する交通事業者や地域の代表者などで構成される委員が集まり、規約や今年度の事業計画について協議を行いました。

今後、協議会は効率的で利便性の高い地域公共交通ネットワークを確保するために、公共交通に関するアンケート調査などを実施し、来年度3月までに能美市地域公共交通計画を策定する予定です。



主なできごと

寺井高校生たちと市議会議員が 意見交換

5月12日、寺井高校3年生たちと能美市議会議員との意見交換会を開催しました。

「自分が市長になったら」をテーマに、同校がGIGAスクール構想で導入した機器を活用しながら、活発に意見が交わされました。

高校生からは「おいし

いお米を売りにして観光客を増やす」「公共交通や街灯をさらに整備して誰にでも優しいまちにした」との意見が出ました。

市議会では今回の意見交換会で出た意見やアイデアを、市政への政策提言に生かしていきます。



意見を交わす寺井高校3年生たちと市議会議員



高校生ならではの独創的な意見が発表されました

消防活動支援協定の研修会を実施

4月17日と24日、市防災センターで消防活動支援協定に基づく研修会を開催しました。

協定の締結後、初めてとなる今回の研修会は消防活動支援協定に同意を得た、根上・寺井・辰口地区の延べ40団の自衛消防団員が参加されました。

研修会では市消防本部が支援要請の方法、現場活動内容および年間訓練計画（案）を説明した後、自衛消防団員と計画（案）について、訓練の要望や現場に対する不安要素などの意見交換を行いました。



研修会に参加した各地区自衛消防団員

祝百寿 森君子さん おめでと〜うございます

4月15日、森君子さん（吉原釜屋町）がめでたく100歳を迎えられました。ご本人は施設に入所中のため、ご家族にお祝い状と記念品が贈呈されました。

森さんは若いころ、家の仕事の手伝いをしたり、自宅の畑でお茶や野菜を作ったりしていました。「毎日の食事はどんな食べ物も好

き嫌がなく、小魚は骨まで、さまざまなもの食べていたことが、長寿と元気につながっている」とご家族が話していました。



100歳を迎えてからも元気に過ごされている森君子さん